

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 3日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 三重県中央町306番地の1

氏 名 株式会社北村組 取締役社長 北村浩文  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0598-51-3400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社北村組 バロー大口店駐車場舗装改修工事 他2件
事業場の所在地	愛知県丹羽郡大口町上小口 1-754 他2件
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	142億
③ 従業員数	128人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	内容は別シートの工程表による。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 内容は別シートの当社組織票による。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排出量	2067.580 t	1.400 t
	(これまでに実施した取組) ・がれき類については中間処理業者（最終再生へ処理する）業者を選定しコンクリート砕石等再利用環境に取組みました。 ・廃プラスチック類は再生率73%となり、一部で再生できないものについては残渣処分となった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排出量	246.500 t	50.000 t
	(今後実施する予定の取組) ・昨年に引き続き、上記取組を継続して行っていく。 ・CSR面において再生率上昇に努め日々分析を行い各作業所へ発進を行い管理していく。 ・SDGSに関しても再資源等の有効活用化を協力業者、会社と構築する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) その他の廃棄物も再生率が上昇した。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各種産業廃棄物を引き続き分別処理していく。混載率の削減に努める。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 内容は別シートの当社組織票による。			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	排出量	2.400 t	0.550 t
	(これまでに実施した取組)  ・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず、共に再生率100%を達成した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	排出量	22.400 t	30.000 t
	(今後実施する予定の取組)  ・昨年に引き続き、上記取組を継続して行っていく。 ・CSR面において再生率上昇に努め日々分析を行い各作業所へ発進を行い管理していく。 ・SDGSに関しても再資源等の有効活用化を協力業者、会社と構築する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) その他の廃棄物も再生率が上昇した。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各種産業廃棄物を引き続き分別処理していく。混載率の削減に努める。		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設混合廃棄物
	排出量	0.600 t	19.630 t
	(これまでに実施した取組) ・紙くずは再生率100%を達成した。  ・建設混合廃棄物については再生率72%となり、一部で再生できないものについては残渣処分となった。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設混合廃棄物
	排出量	10.000 t	36.760 t
	(今後実施する予定の取組) ・昨年に引き続き、上記取組を継続して行っていく。 ・CSR面において再生率上昇に努め日々分析を行い各作業所へ発進を行い管理していく。 ・SDGSに関しても再資源等の有効活用化を協力業者、会社と構築する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) その他の廃棄物も再生率が上昇した。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各種産業廃棄物を引き続き分別処理していく。混載率の削減に努める。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（    令和3年度    ）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	2067.580 t	1.400 t
	優良認定処理業者への処理委託量	8.140 t	1.400 t
	再生利用業者への処理委託量	2061.660 t	1.008 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・従来通り、がれき類に関しては中間処理業者（最終再生へ処理する）を選定したコンクリート砕石、アスコガラの再生利用環境に取り組むことができた。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（    令和3年度    ）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	2.400 t	0.550 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.400 t	0.550 t
	再生利用業者への処理委託量	2.400 t	0.550 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来通り、がれき類に関しては中間処理業者（最終再生へ処理する）を選定したコンクリート砕石、アスコンガラの再生利用環境に取り組むことができた。</li> <li>・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、木くず共に再生率100%と、今期も産業廃棄物再生に積極的に努めた。</li> </ul>		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③ 現状	【前年度（    令和3年度    ）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず	建設混合廃棄物
	全処理委託量	0.600 t	19.630 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.600 t	7.41 t
	再生利用業者への処理委託量	0.600 t	17.555 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来通り、がれき類に関しては中間処理業者（最終再生へ処理する）を選定したコンクリート砕石、アスコンガラの再生利用環境に取り組むことができた。</li> <li>・今期も積極的に産業廃棄物再生に取り組み、混載削減に努めた。</li> </ul>		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	246.500 t	50.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	246.500 t	50.000 t
	再生利用業者への 処理委託量	246.500 t	50.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引業者リストを見直し、再生努力を要する業者をリストアップし、元請の立場から各作業所において代理人が業者へ指導を行い、混載削減を行い、分別し再生を行う。</li> <li>・電子マニフェスト利用業者への積極的選定活用を行う。</li> </ul>		
※事務処理欄			

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず	木くず
	全処理委託量	22.400 t	30.000 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	22.400 t	30.000 t
	再生利用業者への 処理委託量	22.400 t	30.000 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取引業者リストを見直し、再生努力を要する業者をリストアップし、元請の立場から各作業所において代理人が業者へ指導を行い、混載削減を行い、分別し再生を行う。</li> <li>電子マニフェスト利用業者への積極的選定活用を行う。</li> </ul>		
※事務処理欄			

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	紙くず	建設混合廃棄物
②計画	全処理委託量		10.000 t	36.760 t
	優良認定処理業者への 処理委託量		10.000 t	36.760 t
	再生利用業者への 処理委託量		10.000 t	36.760 t
	認定熱回収業者への 処理委託量		0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引業者リストを見直し、再生努力を要する業者をリストアップし、元請の立場から各作業所において代理人が業者へ指導を行い、混載削減を行い、分別し再生を行う。</li> <li>・電子マニフェスト利用業者への積極的選定活用を行う。</li> </ul>				
※事務処理欄				

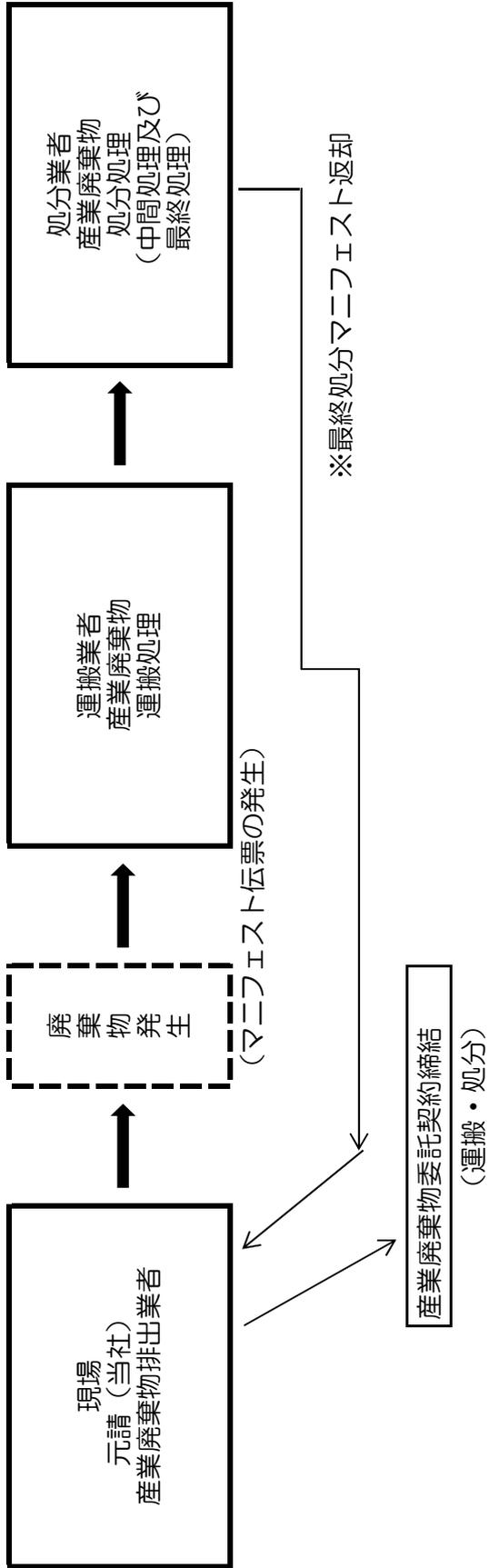
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	10.000 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	10.000 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10.000 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引業者リストを見直し、再生努力を要する業者をリストアップし、元請の立場から各作業所において代理人が業者へ指導を行い、混載削減を行い、分別し再生を行う。</li> <li>・電子マニフェスト利用業者への積極的選定活用を行う。</li> </ul>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物業務 工程表

別紙 1



本社 廃棄物に関する管理体制

